

■はじめに

CBAP 受験にあたって、IIBA 日本支部の合格体験記を拝見しており、過去事例として参考になったこともあり、今後受験される方の参考に少しでもなればと思い、寄稿させていただくことにしました。CBAP についての勉強方法や情報が少ないこと、私自身、3 回目ようやく取得に至り苦労しました。今後受験される方に少しでも自身の経験が参考になればよいなと思い、体験記を寄稿します。

■受験の経緯と動機

私自身、IT 業界に身を置き、営業職のマネージャーとして従事しています。日々の営業活動において、担当顧客との取引の拡大、新規顧客の受注を目指した提案活動、また、受注後においてもエンジニア職のメンバーと連携しながら引き渡しまでのプロジェクトマネジメントの業務含めて、一気通貫で対応してきました。その中で、自身の対応が我流になっているのでは、と感じたこと、また、これまでの経験を客観的なスキルとして証明したいと思い、まずは Project Management Professional (PMP) という資格があること知り、PMP の取得を目指しました。その後、2023 年 3 月に無事に PMP に合格することができたのですが、資格はあくまで資格であり、実践で役に立てるように継続的な学習をしていこうと思い、PMP を維持する為に必要な PDU の取得もできる資格として CBAP について知り、勉強する素材として候補に挙がったのが最初になります。

調べていく中で、日々の業務に照らした時に、PMP は案件受注後のプロセスであり、CBAP は受注前の提案プロセスにも通じ、これからの時代により必要となると感じている提案力の向上につながると感じたこと、また、プロジェクトマネジメントをどれだけ頑張っても、その前工程が的外れな場合、プロジェクトの成功は難しい、という話も実感していたので、(よくある上流工程のコンサル企業が壮大なプランを立てても、その企業にとって有益でなければそれはただの絵に描いた餅となる。) 自身のスキル向上と実践を目指し、CBAP の受験を決めました。

■受験準備と受験までのスケジュール

1. 受験準備 :

IIBA の HP(<https://japan.iiba.org/ExamInfo>) より受験資格を確認し、受験資格を得るための準備を始めました。

BABOK に基づく業務経験 7,500 時間(内、4 つの知識エリアで 900 時間)以上については、実際の申請画面を先に確認し、記載すべき内容をエクセルに落としました。自身のキャリアの棚卸も兼ねられたのも良かったかと思います。実際の記載には文字数が限られているので、簡潔に記載すれば問題ないように思います。リファレンスの 2 名については同じ会社の上司にお願いし、併せて記載して申請しました。申請に要した実際の時間は凡そ半日程度であったと思います。

■ Work History #1

No	Item	Description	Side note
1	Organization Name	(所属している企業名)	
2	Organization Website	(所属している企業のURL)	
3	Work Description	<p>・Objective: For a Manufacturing industry, Introduction CAD, VM infrastructure/VDI platform, Disaster Recovery System.</p> <p>・My Role: As a business analyst, I conducted current situation analysis, plan, proof of concept, design, evaluation, and stakeholder engagement.</p> <p>・目的: 製造業のCAD, 仮想/VDI導入, DRシステムの導入</p> <p>・私の役割: ビジネスアナリストとして、現状分析、実施計画、概念実証、設計、評価、ステークホルダーとのコミュニケーションを実施した。</p>	E/U : XXXX
4	Start Date	2019年3月	
5	End Date	2023年3月	
6	Contact Email	リファレンス者のメールアドレス	
7	Contact Phone	リファレンス者の電話番号	
8	Work Hours	3840	None
-	(未稼働引当)	3840	1 48

Knowledge Area	Overview	Task	Time(h)	Coefficient
KA1. ビジネスアナリシスの計画とモニタリング	ビジネスアナリシスの実施にあたり、ビジネスアナリストとステークホルダーの活動を管理し、まとめる。このためのアウトプットは、他の知識エリアの活動のインプットとなる。	ビジネスアナリシスアプローチを計画する ステークホルダー・エンゲージメントを計画する ビジネスアナリシスリファレンスを計画する ビジネスアナリシス情報マネジメントを計画する ビジネスアナリシスパフォーマンス改善を分析する 引出しの準備をする	384	0.1
KA2. 引き出しとコラボレーション	ステークホルダーから要望を開き出して確認するためのタスクを定義する。ステークホルダーとの共同作業は、ビジネスアナリシスの活動中継続して行われる。	引き出しの実行する 引き出しの結果を確認する ビジネスアナリシス情報を伝達する ステークホルダーのジョブパフォーマンスを管理する	768	0.2
KA3. 要求のライフサイクル・マネジメント	要求と設計価値をマネジメントし、維持するためのタスクを定義する。ビジネスのニーズが要求として表現されることから始まり、要求とそれに対するソリューションが検査されるまでがライフサイクルの範囲となる。ビジネス要求やステークホルダーの要求、ソリューションに効果的に応答するためには戦略が必要となる。この知識エリアでは、戦略・戦術上重要なビジネス	要求をトレースする 要求を維持する 要求に優先順位を付ける 要求変更を評価する 要求を承認する 現状を分析する 需要状態を定義する	384	0.1
KA4. 知識アプリケーション				

Work Discription についてが、文字の制限があった為、要約して記載し、知識エリア毎に纏め、集計するようにしました。

(申請にあたって実際に纏めた業務内容)*2023/4 時点

2.受験までのスケジュール：受験することを決めてからのスケジュールは以下の通りです。

時期	取り組み	取り組んだ資料やツールなど
2023/4	<ul style="list-style-type: none"> ・35 時間研修を受講 ・研修受講後に、受験申請し、学習をスタート 	<ul style="list-style-type: none"> ・CBAP® 受験対策講座 通学 3 日 コース (株式会社 TRADECREATE) ・講座で支給された学習ツールと BABOK(PDF 版)
2023/5	<ul style="list-style-type: none"> ・1 回目の試験を受験 ・結果、不合格。再勉強。 (6 つの知識エリアの内 1 つが“Low”)	<ul style="list-style-type: none"> ・講座で支給された学習ツールと BABOK(PDF 版) ・各知識エリアのタスクを把握。
2023/6	<ul style="list-style-type: none"> ・2 回目の試験を受験 ・結果、不合格。再勉強。 (6 つの知識エリアの内 2 つが“Low”)	<ul style="list-style-type: none"> ・講座で支給された学習ツールと BABOK(PDF 版) ・上記とは別に学習ツールに模擬試験を追加。(JPNTEST 社製 500 題程度)
2023/7	<ul style="list-style-type: none"> ・3 回目の試験を受験。 ・結果、合格。 (6 つの知識エリアの内、全て“Comparable”)	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験を繰り返し、BABOK を読み込み直す。 ・読み込み中で、各知識エリアのタスクと繋がり、必要なインプット・アウトプットの流れをイメージすることを意識。

*すべて、CBT 日本語、テストセンターで受験。

■ 勉強方法と合格までの道のり

上記で記載した通り、受験は 3 回までしており、恥ずかしながら、ギリギリでの合格となりました。勉強については、以下の通り進めました。

1 回目	
使用した教材	講座で支給された学習ツールと BABOK(PDF 版)
勉強時間	約 65 時間 (35 時間研修含む)、1 日約 1~2 時間
勉強方法	BABOK の読み込み、教材は e-Learning だったため、通勤中などに聞きながら、CBAP の概念、各知識エリア、知識エリアのタスクを繰り返し確認し、頭に入れていく作業を繰り返しました。受験日を GW 明けに設定していたため、試験の 2 週間前から講座で支給された学習ツールの模擬問題(100 問程度)にも取り掛かり、試験を迎えました。
受験	オンライン受験は自宅のインターネットが万一不安定になったりした際に、戸惑ってしまい、肝心の試験に集中できないことを避けるために、秋葉原のテストセンターで受験しました。受験当日は、受付で CBAP の試験であることを伝え、免許証を提示し、荷物をロッカーに預け、席に案内され、試験スタートになりました。最初の 40 題ほどは長文問題で、その後は 1 問 1 答の問題でした。失敗したのが、1 通り問題を解き、後の確認用にチェックした問題を見直していたのですが、見直し後の答えが反映されていなかったことに試験終了 15 分前に気づき、慌てて直していくものの、時間オーバーとなり試験終了。結果は不合格となり、試験の解答の仕方をきちんと確認しておけばよかったと後悔しました。

2 回目	
使用した教材	講座で支給された学習ツールと BABOK(PDF 版)、模擬試験(500 題程度)
勉強時間	約 30 時間、1 日約 1 時間
勉強方法	結果は不合格だったものの、1 つの知識エリアのみが不合格だったこともあって、あと少し問題をこなせば合格基準に達するのではと思ひ、模擬試験(500 題)を追加し、中心に勉強をリスタートさせました。500 題中半分ほどを 3 周して、8~9 割を解けるようになったタイミングで再受験を設定しました。
受験	2 回目も 1 回目同様、最初の 40 題ほどは長文問題で、その後は 1 問 1 答の問題でしたので、その点は違和感なく、1 回目の失敗だった後の見直しも十分に時間が取れるように意識して回答を進めました。見直しの

	<p>時間に 1.5 時間ほど確保できたため、チェックした箇所、全問見直しまでできた形で、30 分早く試験を終わらせた。が、不合格。今回は大丈夫であろうと思っていましたが、結果として成績も下がっていたので、今回の結果が実力で、勉強方法を見直さなければいけないと思い、改めて何をすべきか見極めることから始めました。(1 回目で「あと少し」と思ったため、追加した模擬試験もこなしていただけ、になっていた為、2 択までは絞れても最後の正答を選択できなかったと反省を要約したのがこの時点でした。遅い…。)</p>
--	--

3 回目	
使用した教材	BABOK(PDF 版)、模擬試験
勉強時間	約 40 時間、1 日約 1~2 時間
勉強方法	<p>2 回目の失敗より、「理解したつもり」を解消するために、BABOK の知識・考えを体にしみこませるために、BABOK の各知識エリアのタスクと繋がり、必要なインプット・アウトプットの流れをイメージすることを意識して、模擬試験、間違えた箇所を BABOK の読み込みを実施し、自身の不足する知識をカバーしていきました。また、机に座って何時間も続けるスタンスより、1 日の中でも細切れの時間を使って、より記憶に残りやすいように隙間時間を活用するスタンスにしました。朝 30 分、通勤 30 分 x2、夜 30~60 分などに細切れにして、極力「勉強している」という意識を持たせないようにして、無理のないように、かつ確実に頭に入れるように意識しました。模擬試験を 9 割ほど正答できるようになった 7 月に最後の 3 回目の試験を設定して試験を迎えました。</p>
受験	<p>3 回目も 1・2 回目同様、最初の 40 題が長文、残りが 1 問 1 頭の形式で、慣れもあって落ち着いて問題を解くことができました。これまでより、自信を持って解くことができ、全問回答しても 2.5 時間ほど時間が余ったと思います。残りを見直しに当て、「これで大丈夫だろう」と思うまで見直しました。それでも 1 時間ほど余り、最後まで見直そうかと思いましたが、試験終了を押し、結果、合格の表示が出て、安心しました。</p>

■ 試験を終えて

CBAP の勉強で一番難しかった・苦労したのが、漠然とした部分が多く、イメージを掴むことが難しかった、これに尽きます。これは、CBAP が対応する業務が、プロジェクトが発足する前の上流工程であるから当然といえば当然なのですが、これまでの自身の業務で意識できていなかったことの裏返しであったかと思っています。その為、試験勉強中も業務をしている中で、「これは BABOK ではどの知識エリアのことで、意識すべきタスクは〇〇で、次は…」と意識していくことで BABOK 全体の流れを意識し、イメージを掴むことができました。今後の業務でより活用し、業務の品質を上げていける手段として活用していくツールとして、BABOK の考えは有用と思いますので、実践で生かし自身のスキルを向上させていきます。今後は BABOK を広める活動にも貢献できるようにして行ければと思います。

これまで述べた通り、私自身合格までは 3 回まで要し、決して効率よく勉強・知識習得できた方ではありません。ですので、私自身の体験記が、CBAP の資格に興味を持たれた方が「私でも行けるかもしれない…」と思っていただき、受験の後押し、また受験にあたって、少しでも参考になれば幸いです。

もし受験を検討・進められている方で、追加で質問などあればお気軽にご連絡ください。

2023 年 8 月 13 日

米澤 勇紀

yone0719@icloud.com